

スズキ、大型二輪車 新型「V-STROM(ブイストローム)800DE」、 新型「GSX-8S」を国内で発売



新型「V-STROM 800DE」



新型「GSX-8S」

スズキ株式会社は、2022年11月に開催された「EICMA 2022(ミラノショー)」で発表したスポーツアドベンチャーツアラーの**新型「V-STROM(ブイストローム)800DE」**、ストリートバイクの**新型「GSX-8S」**を3月24日より国内で発売します。

新型「V-STROM 800DE」、**新型「GSX-8S」**は、幅広いユーザー向けに、毎日の移動からツーリングまでの利便性を両立した軽量で扱いやすい800ccクラスの新型モデルとして開発しました。

エンジンは、775cm³ 並列 2 気筒エンジンを新設計し、量産二輪車で初めて*¹ クランク軸に対して90°に一次バランサーを2軸配置した「スズキクロスバランサー」*²を採用することで、振動を抑えながら軽量・コンパクト化を実現しました。

新型「V-STROM 800DE」は、様々な走行シーンに対応する電子制御システム S.I.R.S(スズキインテリジェントライドシステム)を採用し、トラクションコントロールシステムに専用の G モードを設定しました。また、調整式の前後サスペンションと、フロントには大径の21インチホイールを装着、前後にセミブロックパターンのタイヤを採用しました。外装はV-STROMシリーズ共通のイメージを維持しながらも、シャープなスタイリングとし、タンクの下まわりやフロントカウル先端部分にアクセントカラーを採用しました。

新型「GSX-8S」は、S.I.R.S に出力特性を3つの中から選択可能なSDMS(スズキドライブモードセレクト)や3段階から選択可能なトラクションコントロール、双方向クイックシフトシステム等を採用することで、様々な走行シーンやスキルに対応しました。また、軽量アルミ製スイングアームを採用し、操縦性を高めました。デザインでは、ショートマフラーに加え、エンジンやシートレールを露出させることで機能部品を美しく見せ、時代を先取りした斬新な独自性のあるスタイリングとしました。

新型「V-STROM 800DE」、**新型「GSX-8S」**は、3月から4月にかけて大阪・東京・名古屋の3ヶ所で開催されるモーターサイクルショー*³に出品します。

※¹ 2022年11月時点、スズキ調べ。 ※² 特許取得済み。

※³ 第39回大阪モーターサイクルショー2023:3月17日から19日までインテックス大阪で開催

第50回東京モーターサイクルショー:3月24日から26日まで東京ビッグサイトで開催

第2回名古屋モーターサイクルショー:4月7日から9日まで愛知県国際展示場で開催

● 年間目標販売台数 V-STROM 800DE 360台(日本国内) GSX-8S 260台(日本国内)

● メーカー希望小売価格(消費税10%込み)

商品名	エンジン	価格(円)
V-STROM 800DE	4サイクル 775cm ³	1,320,000
GSX-8S	4サイクル 775cm ³	1,067,000

* 価格(リサイクル費用を含む)には、保険料、税金(消費税を除く)、登録等に伴う費用は含まれません。